

さあ、未来を
そうぞうしよう。

想像を超える、熊本市。

熊本市人事委員会事務局

〒860-8601 熊本市中央区手取本町1番1号
TEL.096-328-2939 FAX.096-359-4585
E-mail : jinjiinkai@city.kumamoto.lg.jp



熊本市の未来を ともに創造しましょう。

熊本市職員募集パンフレットをご覧ください、ありがとうございます。

熊本市は、中心部にそびえる勇壮な熊本城や清らかな地下水、豊かな緑や美味しい農産物など、歴史文化と自然の恵み、そして、都市の利便性が調和した九州中央に位置する政令指定都市です。

熊本は今、世界的な半導体関連企業の進出などにより、全国から注目を集めており、地域経済の活性化をはじめ、観光の振興や国際化など、多方面での飛躍的な発展が期待されております。

そのような中、本市では、令和6年3月に策定した「熊本市第8次総合計画」に基づき、基本理念に掲げる「市民」と「地域」、そして「行政」が、それぞれの果たすべき責任や役割を担いつつ、互いに支え合う成熟した地域社会を基盤としたまちづくりに取り組んでいるところです。

特に、結婚、妊娠、出産等の希望をかなえ、こどもの命と権利を守り、健やかな成長と安心して産み育てることができる環境を整備していくほか、今後の活発な経済活動を支える「10分・20分構想」をはじめとする広域交通ネットワークの早期実現など、「上質な生活都市」の実現に向け、全力で邁進してまいります。

このような取組を着実に進めるためにも、積極的に地域へ足を運び、市民の皆様と徹底した対話の中で、まちの課題を把握し、自ら解決策を考え、組織内での議論を通じて、質の高いサービスを提供する力を求めています。

働く場としての熊本市は、政令指定都市ならではの事業規模やその範囲から、職員が活躍できるフィールドは多岐にわたり、人事異動を通じて様々な部署で経験を積むことができます。また、基礎自治体ならではの市民との近さも強みであり、自分の仕事が市民の暮らしを支えているという具体的な手応えや達成感を感じることができます。

柔軟な発想や豊かな感性、溢れる情熱と行動力を持った皆さん、熊本市役所の一員として、市民の皆様とともにこれから始まる熊本の新時代を創り上げていきましょう。

多くの皆さんのチャレンジを心からお待ちしています。

熊本市長
大西一史



市民生活を
支えている、
人の役に立てている
という実感

福利厚生が
充実している

働きやすい環境で
様々な働き方が
できる

幅広い分野で
仕事ができる

新規採用職員には
職場指導員がついて
仕事を教えてくれるので
安心感がある



行政にしかできない
仕事がある



地域に密着して
仕事をするこ
ができる

生活に
役立つ
知識がつく

技術職として入庁しても
OJTがあるため
安心して仕事ができる



自ら変革
することができる



めざすまちの姿

上質な生活都市

豊かな自然と歴史・文化に恵まれ、あたたかいふれあいに満ちた地域の中で、お互いに支え合いながら心豊かで幸せな暮らしが営まれ、災害に強くだれもが安心して暮らせるまち。

そして、市民一人ひとりが、自分たちが暮らすまちに誇りを持ち、夢や希望を抱いて、いきいきと多様な生活を楽しんでいるまち。

そのような、市民が住み続けたい、だれもが住んでみたくなる、訪れたくなるまち、「上質な生活都市」を、私たちは目指します。



政令指定都市・熊本市

人口／ 737,543人

世帯／ 343,223世帯

面積／ 390.32km²

※人口・世帯数は令和7年(2025年)1月1日現在の推計人口
※面積は国土地理院公表値

各区の魅力や特色をいかした、自主自立のまちづくり

豊かな自然と
伝統ある歴史文化



水前寺江津湖公園

九州の中核をなす
拠点都市



熊本駅前広場

活発な
地域コミュニティ



世代間交流キャンプ



中央区

熊本市のシンボルである熊本城や水前寺成趣園、西日本最大級のアーケード街を有し、行政やビジネスの中心となっている中央区。医療・教育・文化施設など、生活に必要な機能がコンパクトに集積しています。若者の活気があふれる都会的風景の中にも、自然の安らぎと豊かな歴史が感じられる地域です。



東区

国道57号(通称東バイパス)や一般県道熊本空港線(通称国体道路)などの主要幹線道路が区域内を走り、商業施設や医療機関、学校や福祉施設なども多く都会の姿を見せる東区。一方で北には託麻三山、南には江津湖の自然が広がっており、都市の利便性と自然と調和した住環境に優れた地域です。



西区

金峰山や有明海など自然豊かで、海苔やみかんなど美味しい特産物が豊富な西区。宮本武蔵が「五輪の書」を書いたとされる霊巖洞や肥後細川家ゆかりの釣耕園を訪れると、ゆったりとした時間を過ごせます。熊本駅周辺ではにぎわいある都市空間が整備され、自然と都市の利便性が調和した地域です。



南区

区域の半分以上を農地が占める自然豊かな南区。ナスやトマトなどの農作物、あさりなどの漁業資源が豊富です。国、県、市の指定文化財や史跡などの歴史的資源が多い点も魅力です。城南・富合の工業団地や熊本流通業務団地は製造・流通の拠点地域でもあり、自然と都市部が上手く調和した地域です。



北区

5区の中で最大の面積を有する北区。田原坂や武蔵塚公園などの史跡、植木温泉などの観光資源に加え、八景水谷公園や立田山など豊かな自然に恵まれ、全国有数のスイカの生産地であるなど農業も盛んです。また、幹線道路の整備も進められており、「人」と「もの」の交流が期待できる地域です。



熊本市第8次総合計画 8つのビジョン

VISION 1 こどもが輝き、若者が希望を抱くまち

VISION 2 市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまち

VISION 3 市民生活を守る強くしなやかなまち

VISION 4 だれもが自分らしくいきいきと生活できるまち

VISION 5 豊かな環境を未来につなぐまち

VISION 6 すべての市民がより良い暮らしを営むまち

VISION 7 安全で良好な都市基盤が整備されたまち

VISION 8 市民に信頼される市役所



『こどもの権利サポートセンター』の設置

いじめや暴力、貧困などからこどもの権利を守るために、令和6年から「こどもの権利サポートセンター」を設置し、「こどもホットライン」を窓口として、あらゆる相談を受け、解決に向けた対応を行っています。



アプリの機能	
連携	・マイナンバーカードと連携
ポイント 関連	付与 ・地域活動等をした場合 ・災害ボランティアに参加した場合
	交換 ・活動証明書の発行 ・商業的利用※令和7年度以降に実施
災害時 情報 管理	情報 ・避難所入所時の名簿管理
	管理 ・災害ボランティア受付

くまもとアプリのイメージ

『くまもとポイント』制度

マイナンバーカードと紐づけた「くまもとアプリ」を利用して、町内自治会やNPO法人等が主催する地域活動やボランティア活動への参加に対してポイント等のインセンティブを付与することで、地域活動等への参加を「見える化」します。
また、災害発生時に避難所運営や災害ボランティアの受入れ等にもアプリを活用することで、的確な避難者支援や被災者支援につなげます。



スタートアップエコシステムの構築

スタートアップの成長を支援するため、先輩起業家等のメンターが支援者となり、新たな起業家を次々と生み出し、スタートアップの連続創出を目指す「スタートアップエコシステム」の構築を目的として、成長段階に応じた伴走型支援や、グローバル展開に関する支援等に取り組みます。



(出典)熊本都市圏 都市交通マスタープランより

ベストミックスの構築(交通体系の最適化)

だれもが移動しやすいまちの実現に向け、「熊本西環状道路」、「10分・20分構想」などの広域道路ネットワークの形成や、公共交通機関の機能強化および利便性向上による自家用車からの転換を図ることで、自動車交通と公共交通を最適化する『ベストミックス』の構築に取り組みます。

※熊本市第8次総合計画「ビジョン」
詳しくは 熊本市第8次総合計画 検索

組織・職種紹介

市民の皆様とともに、 これから始まる新しい熊本市を そうぞうしよう。

市役所は国や県に比べ、より住民生活に密接に関わる仕事が多いのが特徴です。

例えば事務職では、市役所本庁や区役所等での窓口業務、税務部門での外勤業務、福祉部門での相談指導業務などがありますが、どの局、どの職種においても住民生活に密接に関わり、住民と接する機会が多い点が特徴です。

また、市政全般の企画、開発、予算編成、調査、研究部門など多種多様な仕事があります。

KUMAMOTO CITY ORGANIZATION

熊本市の組織について

健康福祉局

p.10.14

保健・医療・福祉行政の企画調整、高齢者福祉、障がい者福祉、感染症対策、動物愛護、食品保健、国民健康保険など

・健康福祉政策課 ・健康づくり推進課
・国保年金課 ・高齢福祉課
・障がい福祉課 ・健康危機管理課
・感染症予防課 ・動物愛護センター など

各区役所

p.11

中央区・東区・西区・南区・北区

区のまちづくり推進、戸籍等の事務、証明書等の発行、国民健康保険・国民年金・福祉等の窓口業務、地域のコミュニティ活動支援、地域の相談・要望等に関する業務など

・総務企画課 ・区民課
・まちづくりセンター ・土木センター
・福祉課 ・保護課 ・保健子ども課 など

議会局

本会議・委員会・公聴会運営上の事務、会議録の編集、政務活動、議会広報、行政調査など

・総務課
・議事課
・政策調査課

こども局

p.10.11

こども・若者施策の企画調整、母子保健、児童手当、こども医療費助成、保育所等の管理運営、こどもの権利擁護、児童虐待防止など

・こどもの権利サポートセンター
・こども政策課 ・こども支援課
・保育幼稚園課 ・こども家庭福祉課
・妊娠内密相談センター ・児童相談所 など

消防局

p.15

消防行政の企画調整、消火・救急・救助活動、火災予防の啓発、防火対象物の立入検査、消防用設備等の設置・維持、火災原因調査、災害の通信指令など

・総務課 ・管理課 ・予防課 ・規制課
・警防課 ・情報司令課 ・救急課
・各消防署/出張所

政策局

p.13

市政全般の総合的企画、重要政策の立案・調整、行政評価、国際化施策、海外との都市間交流、本庁舎等の整備、市政広報、秘書、広聴活動、防災対策など

・政策企画課 ・データ戦略課 ・国際課
・庁舎建設課 ・秘書課 ・広報課
・広聴課 ・危機管理課 ・防災計画課
・防災対策課 ・東京事務所 など

環境局

p.13.14

環境政策の企画調整、自然保護、地球温暖化対策、地下水保全、廃棄物行政の企画調整、ごみ減量・リサイクル推進、ごみ収集・運搬・焼却など

・環境政策課 ・脱炭素戦略課 ・水保全課
・廃棄物計画課 ・事業ごみ対策課
・西部クリーンセンター ・東部クリーンセンター
・東部環境工場 など

地方公営企業

p.12

交通局

交通事業に関すること(総合的企画及び財政計画、電車運行など)

上下水道局

上下水道事業に関する企画広報、財政、将来計画策定、上下水道施設の整備及び維持管理

病院局

熊本市市民病院などの病院事業に関すること(各種診療・地域医療連携、総合的企画及び財政計画など)

各職種のご紹介

・事務職

P.10へ

・社会福祉職

P.10へ

・心理相談員

・技術職(土木)

P.12へ

・技術職(建築)

P.12へ

・技術職(機械)

P.13へ

・技術職(電気)

P.13へ

・技術職(化学)

P.14へ

・技術職(農業)

・技術職(水産)

・技術職(造園)

・文化財専門職

・学校事務職

・獣医師

P.15へ

・薬剤師

P.14へ

・管理栄養士

・保健師

P.11へ

・助産師

・学芸員

・保育士

・看護師

P.11へ

・臨床検査技師

・理学療法士

・言語聴覚士

・給食栄養士

・消防職 P.15へ など

先輩職員の声をご紹介します。
各ページをご覧ください。

※P10～15「REAL VOICE」の職員の所属等は、取材当時の内容です

総務局

公文書の管理、条例・規則の制定改廃、市役所改革、人事管理、給与・福利厚生、情報システムの運用管理、本庁舎の維持管理、契約事務の総括など

・総務課 ・法制課 ・改革プロジェクト推進課
・業務支援課 ・人事課 ・労務厚生課
・管財課 ・情報政策課 ・デジタル戦略課
・契約政策課 など

経済観光局

p.15

産業政策の企画調整、地場企業の人材確保・育成、商工業振興、企業立地推進、スタートアップ支援、観光振興、MICE誘致、イベントの企画実施、スポーツの振興など

・経済政策課 ・雇用対策課 ・商業金融課
・企業立地推進課 ・起業・新産業支援課
・観光政策課 ・誘致戦略課 ・動植物園
・スポーツ振興課 ・イベント推進課
・競輪事務所

教育委員会(事務局)

教育行政の企画調整、教職員の人事・服務、学校の学習指導、学校教育や社会教育等の調査研究・研修、学校施設の管理、図書館・博物館など

・教育政策課 ・教育改革推進課
・学校施設課 ・図書館 ・博物館
・指導課 ・学務支援課 ・教職員課
・各学校 など

財政局

予算編成及びその執行管理、市債発行、債権管理、財産管理、税務行政の企画調整、市税の賦課・徴収など

・財政課 ・債権管理課
・資産マネジメント課 ・税制課
・市民税課 ・固定資産税課
・納税課

農水局

農水産行政の企画調整、農水物産の販路拡大・ブランド化、農業経営支援、土地改良事業、漁港・漁場の整備維持など

・農業政策課 ・農業支援課 ・農地整備課
・北東部農業振興センター
・西南部農業振興センター
・水産振興センター など

行政委員会(事務局)

行政の中立的な運営を確保するため、市長から独立した地位・権限を有する組織

・監査事務局 ・人事委員会事務局
・選挙管理委員会事務局
・農業委員会事務局

文化市民局

区政の総合調整、市民協働・地域コミュニティ活動の推進、人権啓発、文化芸術の振興、熊本城の管理など

・地域政策課 ・戸籍住民課 ・生涯学習課
・生活安全課 ・人権政策課
・男女共同参画課 ・文化政策課
・文化財課 ・熊本城総合事務所 など

都市建設局

p.12

都市計画、市街地整備、都市景観、建築行政、公共交通、渋滞対策、住宅政策、市有建築物、道路・河川整備、緑化推進、公園利活用等に関する業務など

・都市政策課 ・都市デザイン課 ・建築指導課
・交通企画課 ・公共交通推進課 ・住宅政策課
・空家対策課 ・営繕課 ・設備課 ・道路計画課
・道路整備課 ・河川課 ・みどり政策課 など

会計総室

現金・有価証券等の出納保管・記録管理、支出関係書類の審査、決算の調整など

都市政策研究所

都市政策の調査・研究・情報収集・蓄積・発信、職員の政策形成能力向上のための研修など



市民の命の安全のために 医療体制の整備に臨む

事務職

橋本 佑委

令和4(2022)年度 採用
熊本市 健康福祉局 保健衛生部
医療対策課 主任主事

保健所における熊本地震や新型コロナウイルスの対応現場で、健康診断などの通常業務の縮小、職員の疲弊を目の当たりにしたことから、有事の際にも保健所機能を維持できる体制を作りたいとの思いで事務職を志望しました。

今は、熊本市内の救急医療体制、災害医療体制の整備に携わっています。主な業務の一つは、熊本地域医療センター等の休日夜間急患診療所や休日当番医の調整です。休日当番医情報は市のホームページの中でも閲覧数が特に高く、多くの市民に必要とされているという手応えを感じると同時に、責任の大きさも実感しています。また、災害発生時の迅速な医療提供の実現に向けて、関係機関と情報共有を行うための会議や、災害時に使用するシステムの医療機関向け操作研修会を開催しています。市民の命の安全のため、市職員だからこそできる医療提供体制の維持・確保に使命感を持って臨む毎日です。



職員の業務をサポートし 成長する姿に喜びを感じる

保健師

木庭 礼子

平成元(1989)年度 採用
熊本市 西区役所 保健福祉部
保健こども課(こども家庭センター) 課長

区役所の管理職として、各職員が地域活動中に感じたことへの相談対応や、業務の調整などを行っています。また、自身の経験を踏まえた上で、制度化に向けた予算取得や連携先の選定といったノウハウを伝え、事業展開がスムーズに行えるようサポート。実務から離れた分、今は、ともに働く職員の成長を見ることにやりがいを感じています。

保健師として市職員を希望したきっかけは、人々の生活に密着した仕事をしたいと考えたから。現在、保健師は保健指導や健康管理などを主業務とし、市民の健康づくり、健康や子育て支援をテーマにした地域づくり事業なども実施しています。私自身はこれまで、現場を体験して市民の声を直接聞くことができる場所に、市職員としての大きな魅力を感じてきました。人と関わる仕事が好きな方は、一緒に市民の健康のためにできることを考えてみませんか。

福祉の業務を通して 市民の人生に寄り添う

社会福祉職
藤本 彩

平成24(2012)年度 採用
熊本市 こども局 こども福祉部
こども家庭福祉課 主査

以前の勤務先で児童福祉の分野に関わりを持ち、市民の最後の砦は行政ではないかと考えるようになったことが、入庁を希望した理由です。社会福祉士の資格を取得しており、最初は熊本市市民病院に配属されて、医療ソーシャルワーカーとして勤務しました。その後は、派遣研修制度を利用して、厚生労働省で国の事業を学びました。昨年までは児童相談所で、市民と直接向き合って対話をしながら、こどもの人生に深く関わる仕事に従事してきました。

今年度からは、ひとり親家庭に対する支援事業に取り組んでいます。市民のニーズを把握しながら、ひとり親家庭に対する支援策を事業化したり、実施する業務が主です。これまでの経験を生かしつつ、福祉の業務に携わる市職員として市民に対する思いを具体的な形にし、人の役に立てる仕事ができることに達成感を得られる日々。市民に寄り添える仕事にやりがいを感じています。



育児休暇制度を利用して 保育士としても成長

保育士
鎌田 勇輝

平成24(2012)年度 採用
熊本市 こども局 こども育成部 保育幼稚園課
熊本市立春日保育園 副主任

幼い頃から憧れていた保育士となり、市職員として「上質な生活都市」の実現のために貢献できることに大きな魅力を感じています。市には公立保育園が19カ園あり、職場異動があるほか、保育幼稚園課、こども発達支援センター、児童相談所など保育士が活躍できる場が多く用意されています。加えてスキルアップのための研修企画などが充実しており、成長を後押ししてくれます。

現在、市立保育園の4歳児クラスの担任として、自分らしさを生かした保育を行っています。私自身、3人の子どもの子育て中で、育児休暇制度を利用しました。自らの家事や育児の体験を保護者支援の場でも役立てることができ、一層のやりがいに繋がっています。また、小学校との連携をはじめ、地域との関わりが多いのも特徴です。人と関わるのが好きな人にとってこいの職場だと思います。





市民の生活に欠かせない インフラ整備を担う日々

土木／技術職 北嶋 晃介

令和4(2022)年度 採用
熊本市 上下水道局 維持管理部
水道維持課 技師

長崎県の高校で土木を学んでいる時、先輩方が熊本市の技術職として働いていることを知りました。そこでの業務内容や職場環境の良さ、熊本の住みやすさ、自然の豊かさなどを聞く機会があり、学んできたことを生かせる魅力的な職場だと思ったのが入庁のきっかけです。

現在は、水道管の維持管理全般に携わる部署で、バルブ、消火栓等の維持管理、橋梁添架管の点検及び修繕、配水管の移設工事などに従事しています。私自身は、熊本地震を経験していませんが、先輩職員からの経験談や災害対応の研修を通じて、災害時に必要な知識や対応方法を日々学んでいます。令和6年能登半島地震では、被災地の水道応急復旧作業に従事し、これまでの訓練が現場でしっかりと役立つことを実感しました。また、この経験から水道が市民生活に欠かせない重要なライフラインであることを改めて認識し、インフラ整備の仕事に携わることへの大きなやりがいを日々感じています。



市民生活に直結する業務。 誇りを胸に取り組む

機械／技術職 小嶺 由美

平成15(2003)年度 採用
熊本市 環境局 資源循環部
東部環境工場 主任技師

学生時代の先生に薦められて、市職員を志望。女性初の機械職として採用されました。機械職は、公共建築物やプラント施設の設備の設計、施工、維持管理などを行う職種で、配属先も業務内容も多岐にわたります。そのため、異動の度に新しい知識や技術を身に付ける楽しみがあります。私は、上下水道局や設備課などを経て、現在はごみ焼却施設の点検、メンテナンスに加え、機器の修理などに携わっています。市民生活に直結する業務でありながら市民の目に触れることはありませんが、施設が停止するとごみの受け入れも停止します。市民の役に立っているという誇りをモチベーションに、常に緊張感を持って臨んでいます。

子育て中の私にとって、最大のメリットは、サポート体制が充実している点。最大2時間の部分休業制度を利用し、保育園児の送り迎えもストレスなく行えました。子育てと仕事を無理せず両立できる幸せを実感しています。

地域住民の生活に密着し 課題に対応できる人材に期待

建築／技術職 原 和義

平成4(1992)年度 採用
熊本市 都市建設局 公共建築部
部長(一級建築士)

大学卒業後、国家公務員として、東京で国施設の設計基準の作成や特殊施設の研究などを経験。次第に地域住民の生活に密着した幅広い業務を行いたいという思いが募り、市職員を志望しました。入庁後は、国では経験できなかった建築主事としての建築確認業務をはじめ、民間建築物のバリアフリー化推進事業などに従事してきました。

現在は部長職として、市有建築物の耐震化、長寿命化推進および省エネ対策などの統括的な業務を行っています。さまざまな行政課題に柔軟かつ的確に対応できる後進の育成にも努めています。また、市の担う業務は時代とともに変化しますが、市民の安心安全を担う重要な業務であることは変わりません。広い視野と専門職としての自覚を持ち、自ら変革していくエネルギッシュな人材を期待しています。



市庁舎建替えに向けて 熱い気持ちで業務に挑む

電気／技術職 尾辻 亮

平成22(2010)年度 採用
熊本市 政策局 庁舎建設課 技術参事

大学で学んだ電気系の職種に就き、転勤のない職場で地域に根差した仕事をしたいと思い、市職員を志望しました。入庁後、最初の配属先はごみ焼却施設で、イメージしていたデスクワークではなく、設備の維持管理や清掃といった現場作業メインの業務があることに驚きました。以降、小学校新築の際の電気工事の担当をしたり、官民連携のまちづくりに参加して多くの市民と関わったり。配属先ごとに多様な業務があり、異動する度に新しい知識を得る喜びが感じられるところに、市で働く大きなメリットを感じています。

現在、熊本市庁舎の建替えに向け、建築、土木、機械などの技術職だけでなく、事務職も含め様々な職種の職員で協力し、多角的な視点で検討に取り組んでいます。市庁舎は市有施設の中でも最大規模の建築物。携わることにより身が引き締まる思いである一方、ソフト・ハードの両面において新しい考え方を積極的に取り入れ、時代を先取りするようなチャレンジをしたいという熱い気持ちを持って、挑んでいくつもりです。





化学の知識を生かし
市民の暮らしに関わる

化学／技術職
田中 裕大

平成31(2019)年度 採用
熊本市 環境局 環境推進部
環境政策課 技師

大学で専門的に学んだ化学・生物の知識を生かし、人の暮らしに直接関わる仕事に就きたいと考えていたところ、地元である熊本市に化学職という職種があると知り、入庁を希望しました。

現在、大気汚染防止法など、さまざまな環境法令に基づいた市内の大気環境の常時監視、騒音・振動の相談対応、新規条例の制定に向けた業務など、熊本市の環境を守るための幅広い業務に携わっています。化学職の業務には検査や分析のほか、事務処理や政策立案を行う職場もあり、配属先によって新しい学びが得られます。また、派遣研修制度を利用した環境省への派遣時には、国の計画策定に携わる経験も。市は様々な研修メニューが準備されていて、自分の成長につながる点も魅力のひとつです。窓口業務や電話相談をはじめ、新しい施策に関する議論の場などでも、常に市民の生活の質に直結する業務に携わっているという実感が、やりがいに繋がっています。



多様な経験を通して
獣医師としての見識を深める

獣医師
上野 明日香

平成18(2006)年度 採用
熊本市 経済観光局 動植物園
技術主幹 兼 主査

大学卒業時に獣医師免許を取得し、臨床獣医師としての技術を磨くために東京の民間の動物病院に勤務。将来、野生動物と関わりたいという思いが高校の時からあり、ぜひ来て欲しいと連絡をもらった熊本市動植物園でと考え、志望しました。入庁してすぐは、検査業務に従事したほか、動物愛護センターでは獣害対策なども経験しました。また、保健所の栄養士や薬剤師などさまざまな職種の方と接することで見識を深められ、市職員として働くことへの意識を新たにできました。さまざまな職場で多様な体験ができ、それが自身の成長に繋がっていくところが、市で働く一番の魅力だと思います。

現在は、動植物園で飼育スタッフを取りまとめ、飼育環境を整える体制作りを行っています。動物園間で絶滅の危機に瀕している動物の繁殖を計画したり、教育普及活動や展示を企画したり。動物園での仕事は多岐にわたりますが、来園された方々の笑顔を見ると、充足感が得られます。

市民の健康や命を守る
業務の幅が広い薬剤師

薬剤師
中林 秀和

平成5(1993)年度 採用
熊本市 健康福祉局 保健衛生部 医療対策課
首席審議員 兼 課長

現在、医療対策課の課長職として、マネジメント業務に携わっています。救急医療体制の構築や、病院や薬局等の許認可業務が主業務です。熊本市の恵まれた医療資源を背景に在宅医療や災害医療など市の政策について、医師会等の関係団体と協力し、医療の目指すべき姿であるグランドデザインの策定にも取り組みました。

私は、薬剤師として入庁し、まず、熊本市民病院で病院薬剤師の業務を経験。環境総合センターでの食品検査業務、保健所での業務にも従事しました。市で働く薬剤師は市民病院のほか、医療対策、生活衛生、食品保健、感染症予防など、公衆衛生に関するさまざまな業務に関わることができるのが魅力です。民間勤務と大きな違いは、市職員としての身分を保障されたうえで“転職した”と思えるほど違った仕事ができる点。市民の健康や命を守る重要な業務に就きながら、自らも幅広い分野の知識や技術を向上させることができる、喜びを実感できる職場だと思います。



消防の多様な活動に従事し
まちの方々を支えたい

消防職(救急救命士)
竹谷 麻美

平成15(2003)年度 採用
熊本市 消防局 東消防署
警防課 消防主任

高校生の時、市に女性の救急救命士が誕生。現場で活動される姿を間近にして憧れを持ち、同じ道を目指しました。採用後に、消防の仕事の多様さと、消火や救急はもちろん法令に則った火災予防活動や広報活動など、仕事内容は多岐にわたることを知りました。

ケガや病気による救急要請は、いつ発生するか分かりません。好きな仕事に行政の一員として関わる喜びがある一方、命に関わる責任の重さも痛感しています。体調管理も必要ですし、出産後は、子育てと両立できるよう、夜間勤務等ができない職員のために創設された日勤救急隊制度の平日の日勤のみの勤務に配属しています。市職員として勉強を重ね、育ててもらったまちの方々を支えたいという気持ちが原動力。救急の現場では常に冷静であることを心掛け、チームワークを大切に日々の救急要請に当たっています。



休暇の取得促進

年次有給休暇や男性職員の育児休業など、職員が休暇等を必要とする場合に取得しやすい環境づくりに取り組みます。

【主な取組】

- 年間休暇取得の最低日数設定(7日間／人 ※R6年までは5日間)
- 年休の年間平均取得日数公表
- 男性職員の育児に伴う休暇・休業の取得促進

有給休暇(R5)

平均取得日数

16.4日

合計5日以上の取得率

99.0%

※熊本市特定事業主行動計画 公表事項

育児休業取得率(R5)

女性職員

100%

男性職員

94.4%

※上記の男性職員の数値は市長事務局のみ
R5全体：45.8%（消防職・教職員等を含む）
※育児休業を7日以上取得した割合

快適な職場環境

職員が快適に働けるオフィス環境やワークルールなどを整え、自律的な働き方や職員間のコミュニケーションを促進します。

【主な取組】

- フリーアドレスの導入・拡大
- TPOに応じた働きやすい服装の選択



柔軟な働き方の推進

子育てや介護など職員一人ひとりの状況に応じて、職員が最大限に能力を発揮できるよう、柔軟な働き方ができる環境づくりを推進します。

テレワークの推進



各部署における業務特性を踏まえ、テレワークを実施しやすい組織風土の醸成や、環境整備に取り組みます。

柔軟な勤務時間運用



通勤時の負担軽減等、ワーク・ライフ・バランスの向上のため、時差出勤制度を導入しています。また、フレックスタイム制度や、インターバル制度を試行で導入しています。

デジタルツールの活用



生成AI・RPA・Office365などの最新デジタル技術を導入し組織全体のデジタル化を推進することにより、生産性の向上に取り組んでいます。

支援制度

令和7年(2025年)4月1日現在

配偶者分娩休暇

男性職員が、配偶者の出産をサポートするための特別休暇。

3日

出産予定日の前2週間～出産翌日2週間以内で、3日以内取得可。産院への送迎日+出産当日などに利用できる。

育児時間

3歳の誕生日の前日まで、育児のため1日のうち2回以内、90分以内(1回少なくとも30分)で取得可。

90分

例えば、「45分+45分で1日2回」取得する方法と、「30分のみ1回」など選べ、保育園の送迎などにも利用できる。

部分休業・子育て支援時間

勤務時間の始め又は終わりに、2時間の範囲内で勤務しないことができる。

2時間

夫婦とも市職員の場合、それぞれ2時間以内で取得でき、同じ時間帯でも可。令和6年度から子の対象を小学6年生まで拡大(障がいがある子は18歳に達する3月31日まで)

育児短時間勤務

勤務パターンを5種類から選べる。例えば「土日を週休日とし、1日あたり3時間55分(週19時間35分)勤務」など。

5種類
選べる

育児等による早出遅出勤務

勤務パターンを8:00～16:45に繰上げ、又は9:15～18:00に繰下げなど5種類から選べる。

5種類
選べる

時間外勤務制限

早出・残業等(時間外勤務)の免除を請求できる。

深夜業の制限

深夜勤務(午後10時～午前5時)の免除を請求できる。

※【参考】令和5年 熊本市職員(教職員除く)の合計特殊出生率1.92(令和5年 全国平均1.20)
※令和6年(2024年)4月1日現在

給料・諸手当など

令和7年(2025年)4月1日現在

給料

採用された場合の標準的な初任給月額

※学歴・職歴等により、別途算定される場合があります。

試験区分	職種	初任給月額
大学卒業程度	事務職・学校事務職・社会福祉職・保健師・心理相談員・技術職・文化財専門職・学芸員(4年制大学卒業)	228,300円
	助産師(4年制大学卒業)	258,400円
	獣医師・薬剤師(6年制大学卒業)	238,900円
	看護師(短期大学3年課程卒業)	253,100円
短期大学卒業程度	歯科衛生士(短期大学3年課程卒業)	219,700円
	保育士・給食栄養士(短期大学2年課程卒業)	211,400円
高等学校卒業程度	事務職・学校事務職・技術職	194,900円
消防職	消防職(大学卒業程度)	233,700円
	消防職(高等学校卒業程度)	207,000円
社会人経験者	事務職・技術職(大学卒業・採用時30歳・8年勤務実績の場合)	267,400円
	動物専門職(大学卒業・採用時30歳・8年勤務実績の場合)	267,400円

諸手当

給料のほか、支給要件に応じて、以下の手当が支給されます。

扶養手当	扶養親族に応じて支給
住居手当	上限額 27,000円
通勤手当	通勤の方法及び距離に応じて支給
期末・勤勉手当	合計4.6月分、年2回支給(6月、12月) ※採用初年度は合計2.99月分

勤務時間・休暇等

勤務時間	原則、月～金曜日 8:30～17:15 (土日祝日、年末年始休み) ※業務に支障がなければ、7時30分～10時00分の間30分単位の勤務時間の繰上げ・繰下げが可能 ※職種や勤務場所によって異なる場合あり
年次有給休暇	1年につき20日(4月採用は15日)
産前産後休暇	各々8週間
育児休業	養育しようとする子が3歳に達する日の前日まで
その他	夏季休暇、結婚休暇など各種休暇制度あり

採用後の研修制度など

職場指導員制度

マンツーマンで仕事を教えます



新規採用職員1名に対し、先輩職員1名の「職場指導員」を選任し、指導を行います。

職員育成強化期間

採用8年目まで毎年対面研修あり



採用8年目までの期間を職員の育成強化期間として、新規採用職員研修の充実、対面でのテーマ別研修の実施により、知識の定着とモチベーションの向上を図ります。

自発的な学習を支援

学びたい時に学べる



eラーニングを活用し、自身に必要なスキル・知識を「自ら考え学ぶ風土」をつくるとともに、資格取得支援、自主学習グループの活動支援など職員の自発的な学習を支援するための環境を構築しています。

そのほか、階層別研修や派遣研修など、様々な研修があり、能力向上やスキルアップを図ることができます！

熊本市職員成長・育成方針

時代の変化や市政の課題に、的確に対応できる知識・能力を持った、政令指定都市にふさわしい職員を育成するとともに、成長を支援します。

めざすべき職員像

自ら考え、自ら見直し、
自ら行動する職員

詳しくはこちら



備えるべき4つの行動姿勢(志向)



市民志向

- 市民の利益を第一に考え行動する
- 公平・公正な市民サービスを提供する
- 人権意識を持ち、誠意ある応対をする



自立志向

- 自ら学び、成長する
- 積極的に自分ごととして考える
- 自分の考えを持ち仕事をする



チーム志向

- 対話を通じて目標を共有し一丸となる
- つながりあいチームワークを大切にする
- チームとして個々の特性を活かす



改革志向

- 資源の制約がある中で、最高の成果を目指して仕事をする
- 未来を想像し実現への創意工夫をする
- 失敗を恐れず前向きにチャレンジする

Q&A



採用後の配属・異動・昇任は
どのようになりますか？

最初の配属の後、概ね3～5年サイクルで人事異動がありますが、配属や異動は職員の希望を踏まえ、職種・適性・希望・業務の必要性などを総合的に考慮して行われます。また、基本的には熊本市内の職場の異動ですが、国等への派遣や研修により市外への配属となることもあります。

昇任は、学歴・性別等に関係なく勤務実績と能力に基づき行います。(主査級・課長級への昇任は、一部の職種を除いて昇任試験制度があります。)



どのようにして、
市職員を採用するのですか？

職員採用試験に合格した方が採用候補者名簿に登録され、各任命権者から採用されることになります。
(ただし、職種により異なる場合があります。)



【採用試験情報】

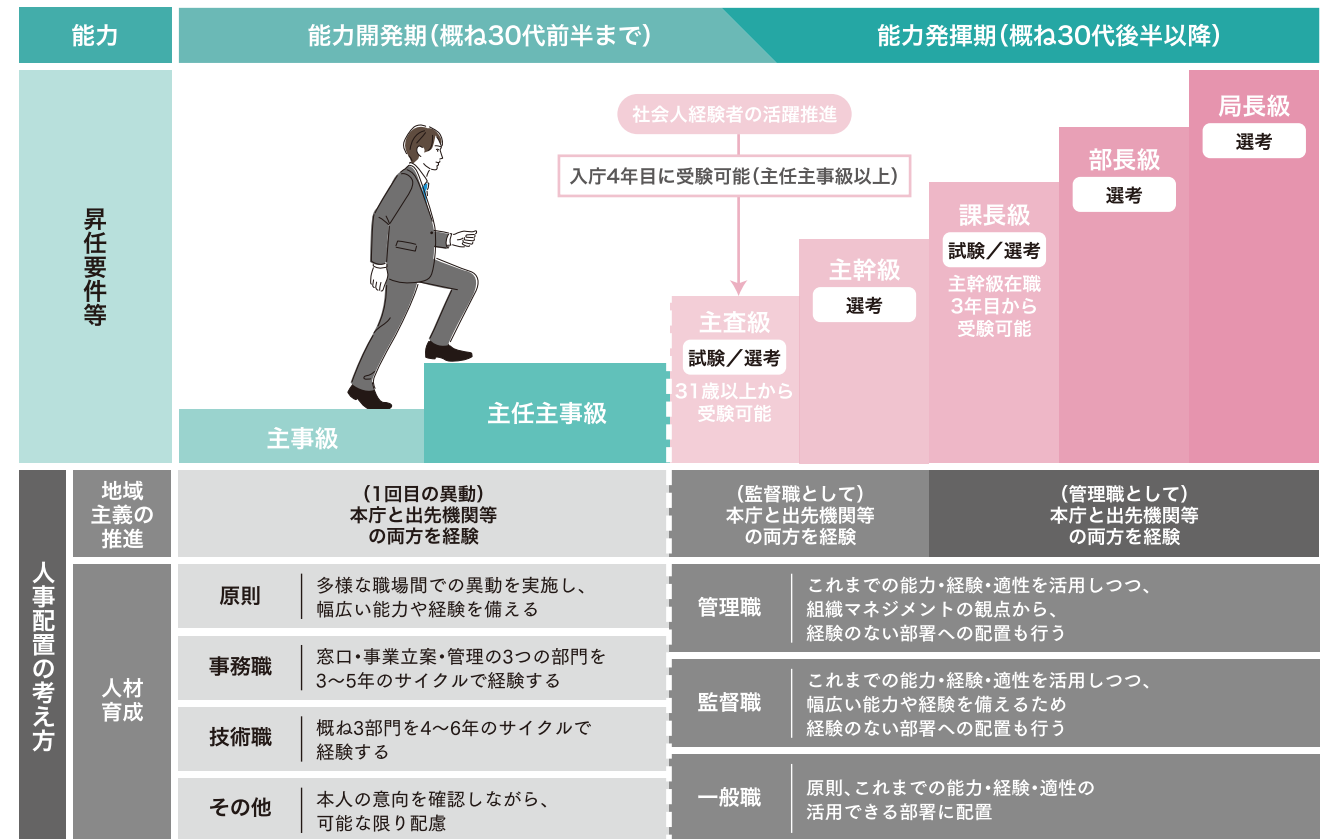
最新の採用試験情報は、
熊本市職員採用情報サイトに掲載しています。
◀詳しくはこちら

熊本市役所 採用

検索

キャリアパスの明示

人事異動を職員の成長する機会と位置付け、基本的に多様な業務経験を通じた人材育成を行います。



※部門分類:窓口(税、各区、CW、まちづくり系含む)、事業立案(各局主管課の一部、福祉系、イベント等)、管理(会計・契約・財政・総務等)

※技術職:土木・建築・機械・電気・化学等

※その他:医療技術職・業務職・消防職・その他資格職種及び変則交代制職場

その他制度や実績

エキスパート認定制度

特定の分野において、高度かつ専門的な知識及び技能を持つ職員が、長期間にわたって能力を発揮し、着実に継承すること、当該分野における事務の効率化・高度化につなげることを目指してエキスパート認定制度を導入しています。

分野	業務内容
税務	市税に関する賦課徴収
用地	公共用地の取得及び用地補償に関する業務
戸籍	戸籍に関する事務
児童支援	要保護児童等に関する事務
生活保護	生活保護に関する事務

令和6年度(2024年度)現在

女性管理職
比率(R6)15.3%
全職種
(教育職除く)

女性管理職・監督職の積極的登用

女性職員がライフステージに合わせたキャリアプランを描けるような職場環境づくりや組織全体の意識醸成を進め、女性管理職・監督職の登用率の向上をめざします。

【主な取組】

- 各昇任試験等を控える職員向けのライフ&キャリアデザイン研修の実施
- 女性幹部養成支援プログラム(自治大学校)等への研修派遣
- 先輩職員によるロールモデルの情報発信
- 主査級昇任試験の対象年齢の引下げ
- 複数主査体制による不安・負担軽減

女性割合(教員職除く)	R6実績	目標値(R13)
管理職(全職種)	15.3%	25%以上
課長相当職(全職種)	16.1%	—
係長相当職(全職種)	36.8%	—

※熊本市特定事業主行動計画 公表事項